



学校通信

令和7年 1月31日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第10号)

なりたい自分へ

校長 岩下 桂郎

1月29日に都立盲学校の入学相談があり、本校中学部3年生のうち、盲学校への進学を希望する生徒も進路先となる学校で入学相談に挑みました。寒い日が続く中ではありましたが、生徒たちは今もてる力をしっかりと発揮してきたことと思います。

本校は中学部までの学校のため、進学を希望する卒業生は進路先となる学校で受験や入学相談を行います。今いる環境を離れることは、15歳の子共たちにとって大きな挑戦です。次のステージに進むためには、学校での「進路学習」や御家庭の支援が欠かせません。子共たちが「進路選択」という大きな課題にしっかりと向き合い、目の前の受験だけでなく、将来どのような生活を送りたいかを見据えた決断ができるよう、丁寧に準備を進めていく必要があります。

本校の中学部3年生も、それぞれの進路決定に向けて、志望する学校を実際に見学したり、事前相談を行ったりしてきました。また、その先の生活を見据えるため、卒業生が働いている職場への訪問や、校内での作業学習や就業体験にも取り組みました。進路学習の一環として、先日校長室で面接練習を実施しましたが、面接中に手が震えるほど緊張した様子の生徒も見られました。「本校を志望する理由は何ですか」「中学校で頑張ったことは何ですか」「入学後にやってみたいことはありますか」「将来就きたい職業や夢はありますか」といった質問に対し、生徒たちがとても真摯に答えようとする姿が印象的でした。

たとえ夢をそのまま実現することが難しくても、「なりたい自分」に向かって努力することは非常に大切です。進路指導は、将来の生活を具体的にイメージしながら、自己実現を目指す力を育むことを目標としています。不安を抱えながらも、今はまだ漠然としている夢であっても、あるいは現実離れしているように感じるがあっても、自分の「好き」という気持ちを大切にしてほしいと願っています。

「小学部 書道体験」

1月27日(月)に外部から講師をお招きして、書道体験を行いました。子供たちは、大きな紙の上に座り、両手をいっぱい広げて紙の大きさを確認していました。また、「習字って『墨』のにおいがするよね。」と匂いを感じとっている子もいました。

今年のテーマは、干支の「巳(へび)」です。へびの体を表現したり漢字やカタカナで字を書いたりして、個性あふれる作品が出来上がりました。(文責 後藤)

